

2024年度開発協力人材育成事業：募集分野

募集分野		登録番号	
■募集分野	保健医療（保健政策・財政）	■募集人数（人）	1
■学位	博士		
■担当部署名	人間開発部 保健第一グループ		
<b>■募集の背景</b> 新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより世界各国において保健システムの脆弱性が露呈したが、感染症等による健康危機に対応するためには、保健システム強化による平時からの備えが必要であることが改めて認識された。特に保健システム強化を通じたUHC達成が国際的な目標とされている近年においては、保健財政の強化に加え、すべての人がファイナンシャルプロテクションを得られるような制度設計、運用能力の強化は優先的に取り組む事項である。 JICAはこれまで保健制度整備、人材育成、保健インフラ整備等による保健医療サービスの質と量の向上に長年にわたって取り組んできたが、近年では、保健医療サービスをより公平かつ持続的に提供すべく、保健財政や医療保障制度等の改善への協力ニーズが多数寄せられ、技術協力に加え資金協力も組み合わせた協力を展開している。今後ますます複雑化する健康課題に対し、医療サービスへの多様な需要はますます高まることが予測される、グローバルアジェンダ及びJICA保健医療イニシアティブにおいても、強靱な保健財政、医療保障制度の構築に取り組むこととしており、同分野においても協力人材の育成が急務とされている。			
<b>■本事業を通じて育成が期待される人材像</b> 途上国での保健分野の国際協力を経験している人材が保健政策・財政分野の博士号を取得することで、保健財政の強靱化、医療保障制度の構築・運用改善等を支援するJICAプロジェクトのチーフアドバイザーもしくは政策アドバイザー専門家等として活躍できる人材となることを想定。			
<b>■想定される大学院の研究コース（及び研修内容）</b> London School of Hygiene and Tropical Medicine, Doctor of Public Health (DrPH) Harvard T.H. Chan School of Public Health, Doctor of Public Health (DrPH) Johns Hopkins Bloomberg School of Public Health, Doctor of Public Health (DrPH) ※研究コースの例となりますので、これに限るものではありません。			
<b>■参考情報</b> JICA保健医療分野事例紹介 ( <a href="https://www.jica.go.jp/activities/issues/health/case.html">https://www.jica.go.jp/activities/issues/health/case.html</a> ) アジア地域 社会保障セクター基礎情報収集・確認調査報告書 ( <a href="https://openjicareport.jica.go.jp/pdf/12079950_01.pdf">https://openjicareport.jica.go.jp/pdf/12079950_01.pdf</a> )			
<b>■研修修了後に想定されるJICA事業参画の時期・期間</b> 学位取得後に1-2年程度のJICA本部勤務または専門家等としての派遣を想定していますが、研修中に本人と適宜相談のうえ調整。			
<b>■募集要項に記載の応募資格以外に受入れに関し求める要件</b> （「必須」か「望ましい」かを選択し、具体的な要件を記載ください。）			
必須	関連分野修士号		
必須	当該関連分野に関連する5年以上の実務経験を有すること。		
必須	JICA専門家/企画調査員等として1年以上の派遣経験もしくは同等の海外経験を有すること		
<b>■備考・留意点</b> 当該分野は、協力相手国の保健セクターへの予算配分を左右する国のトップや財務省等の方針に大きく影響し、また医療保障制度については政治的な影響も受けやすい特徴があるため、幅広い視野で保健政策を学んでいただくことが重要です。またUHCの達成は試行錯誤の連続であり、UHC達成の道筋も非常に多様です。特に医療保障制度の歴史的な経緯や背景、制度構築のための意思決定、取組について、様々な国の実際の事例や経験を分析・把握することも重要になります。			